

僕はどうなったんだろう

四月六日 月曜日 僕はどうなったんだろう

朝、雨だ。

暗い気持ちをもっと暗くなる。

下で声がした。

本町のけいちゃんと修ちゃんが遊びに来た。
下に降りて、雑談に加わった。

けいちゃんは僕と同じ年。
修ちゃんは兄貴と同じ年。

お母ちゃんもおばも僕らが生まれた時は
おむつの洗濯だらけで、おばあちゃんは大変だった。

「それが、もう大きくなったもんなあ。」
と、おばあちゃんとおかあちゃんの言葉。

雨がやみ、裏の畑で、少し、修ちゃんとけいちゃんに
幹夫と京太も加え、一緒に、草野球をした。

けいちゃんは、女の子だけど、とても上手だ。
曇りだったが、また小雨、
少し濡れながら、そのままやった。

英会話の小包が来てたので、暇つぶしに
夜は、そのテキストを読み、練習した。

けいちゃん、僕の部屋に入って来て、
横で、僕の英語の発音聞いて、
「よっちゃん、かっこいい。」と冷やかす。